

2021年度日本海洋学会第5回幹事会議事録

日時:2022年1月27日(木)13:30~16:30

場所:Zoomを利用したオンライン開催

出席者:神田会長、伊藤副会長、岩本、梅澤、江淵、乙坂、帰山、川合、高橋、土井、中野、西部、野口、三角、吉田、事務局(毎日学術フォーラム:平坂)

議題

1. 議事録(案)承認(三角幹事)

2021年度第4回幹事会の議事録(案)が確認され、承認された。

2. 審議事項

(1) 入退会について(梅澤幹事)

2021年10月から11月の入会者(2名)と退会者(5名)が承認された。2021年11月末時点の会員数は、1450名。

(2) シンポジウムの後援・協賛等について(梅澤幹事)

後援・協賛等について3件の依頼があり、承認された。

(3) 募集・推薦等の依頼(梅澤幹事)

公募・推薦5件、シンポジウム・講演等について5件、その他2件の依頼があり、学会ホームページにて公開、メーリングリストにて配信等の対応がなされたことが報告された。

(4) 2022年度青い海助成募集要項について(梅澤幹事)

2022年度青い海助成事業の募集要項(案)について提案され、承認された。
応募資格に「教育・研究グループ」が追加されたことや、実施活動がアウトリーチ等に寄与することを推奨することが明記されたことが述べられた。

(5) Journal of Oceanography (JO) 投稿規定の改定について(江淵編集委員長)

Journal of Oceanography について CTS(著作権譲渡同意書)を LTP(出版ライセンス契約)に変更することに伴う投稿規定の改定案が提案され、承認された。

(6) JO 編集委員の交代について(江淵編集委員長)

JO 編集委員の交代について提案され、承認された。

(7) 名誉会員の推薦について(乙坂幹事)

名誉会員の推薦に関して、2名の会員の推薦が提案され、承認された。

(8) マイページを利用した大会申込み方法の検討について(土井幹事)

マイページを利用した大会申込み方法について提案された。大会直前に入会する人の扱い等の問題点について協議し、再度業務委託先とシステムの設計について調整することとなった。

(9) Web を用いた選挙について(中野幹事)

Web を用いた選挙について提案され、導入することについて承認された。次回の幹事会で業務委託先を決定することになった。

(10) 5月の評議員会・総会について(乙坂幹事)

5月の評議員会・総会の開催方式について協議した。ハイブリッド開催とする場合の開催方法や、その場合の定足数の考え方等について引き続き検討することとなった。

(11) JO のアソシエーションコードの配布時期について(乙坂幹事)

JO のアソシエーションコードの配布時期を3月から4月に変更することが提案され、承認された。

3. 報告事項

(1) 会長(神田会長)

大型研究計画に関するマスタープランの申請に関して、日本学会議の体制に変更がある見込みであり、伊藤副会長、日比谷会員と相談しながら対応にあたっていることが報告された。

JpGU の三宅賞に1名の推薦を行ったことが報告された。

日本海洋学会 80 周年特別号のニュースレターの編集が最終段階にあることが報告され、編集作業に対する感謝の意が示された。

国際生物化学連合(IUBS)の大会が日本で開かれることになり、IUBS の対応をしている学会議の分科会から、プログラム編成や講演者の紹介等のサポートを依頼されたことが報告された。

(2) 庶務(乙坂幹事)

2022 年度の各賞の受賞者に受賞の連絡をしたことが報告された。

(3) 会計(西部幹事)

賞の新設に関連した銀行口座の作成状況について報告された。

(4) 研究発表(土井幹事)

2022 年度春季大会が JpGU で開催されることが報告された。2022 年度、2023 年度秋季大会の実施予定について報告された。

2022 年度の秋季大会の準備状況について報告された。

(5) 選挙(中野幹事)

各賞可否投票の結果、賞選考委員選挙の結果について報告された。

(6) 編集

① JO(江淵編集委員長)

JO(Vo. 76(1)から Vol. 78(1))の発行状況、投稿・受理状況について報告された。

特集セクションの発行状況、発行見通しについて報告された。

JOのTwitterアカウントが新設されたことが報告された。

② 海の研究(吉田編集委員長)

海の研究第30巻6号が2021年12月15日に発行されたことが報告された。第31巻1号は2022年2月に発行予定であることが報告された。

③ ニュースレター(岩本編集委員長)

日本海洋学会80周年記念号の編集状況について報告された。

JOSニュースレター(第11巻4号)は2022年3月1日に発行予定であることが報告された。

(7) 海洋観測ガイドライン編集委員会(乙坂幹事)

2021年12月20日に第2回編集委員会が開催されたことが報告された。和文第5版の編集スケジュールの確認や新規項目の検討、掲載内容の修正がある場合の手続きについて協議したことが報告された。

(8) 教育問題研究会(川合幹事)

2021年12月25日に海洋教育学会の設立に向けた第4回準備会合が開催されたことが報告された。2022年2月12日に設立大会を開催予定で、その実施内容の確認が行われたことが報告された。午前研究発表、午後パネルディスカッションの予定で、パネルディスカッションには教育問題研究会の須賀会長が登壇予定であることが報告された。

(9) 海洋生物学研究会(西部幹事)

2022年3月19日に開催予定の海洋生物学シンポジウム2022の開催方式はハイブリッド形式を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大をふまえて未定となっていることが報告された。

(10) 日本地球惑星科学連合(三角幹事)

JpGU2022のセッション提案状況と準備状況について報告された。

(11) 研究に関する将来構想WG(高橋幹事)

研究に関する将来構想 WG でとりまとめた将来構想について、高橋幹事、西岡会員が、文部科学省の海洋開発分科会、海洋科学技術委員会において話題提供を行ったことが報告された。

2022 年 1 月 14 日に、一般の方に向けた将来構想の提示に向けた会合が実施されたことが報告された。

(12) 男女共同参画(野口幹事)

2021 年 12 月 13 日に男女共同参画学協会連絡会の第 20 期第 1 回運営委員会が開催され、野口幹事と伊藤副会長が出席したことが報告された。第 2 回は 2022 年 3 月 29 日に開催予定であることが報告された。

2022 年度の学協会連絡会シンポジウムは 2022 年 10 月 8 日に、東京大学本郷キャンパスで開催予定であることが報告された。

2022 年 3 月 26 日に実施される水産海洋学会主催のシンポジウムにて、野口幹事が日本海洋学会の男女共同参画の取り組みについて講演する予定であることが報告された。

(13) 水産・海洋科学研究連絡協議会(伊藤副会長、高橋幹事代理)

2021 年 12 月 10 日に、第 2 回の会合が開催されたことが報告された(高橋幹事が代理出席)。日本海洋学会の 80 周年記念シンポにご協力頂いた方々へ感謝を述べ、マスタープランの再提出について協力をお願いしたことが報告された。

(14) 沿岸環境関連学会連絡協議会(梅澤幹事)

2022 年 3 月 17 日に沿岸環境関連学会連絡協議会と日本財団の合同シンポジウムが開催される予定であることが報告された。

(15) 若手支援(伊藤副会長)

海洋若手会の夏の学校の過去の冊子について PDF 化が完了したことが報告された。

(16) リクルート戦略 WG(梅澤幹事)

学会ホームページに「海洋・水産系の大学・進路の相談窓口」を設置したが、現時点で問合せ等はないことが報告された。

(17) 80 周年記念 WG: 記念行事について(乙坂幹事)

JOS ニュースレターの 80 年記念号の編集が進んでおり、2 月中旬頃に記念品とともに郵送予定であることが報告された。

(18) 「海洋環境の事典」について(伊藤副会長)

2022年1月18日に、伊藤副会長、原田会員、日本海洋政策学会の道田副会長、朝倉書店の担当で、「海洋環境の事典」の出版に向けた第1回企画会議が行われたことが報告された。今後の編集スケジュールについて報告された。

以上